

## 利用規約

この利用規約は(以下、「本規約」という。)は、株式会社マイディアル(以下、「甲」という。)がオンライン上で提供するサービス「『こっそり副業術』実践オンラインサロン」(以下、「本サービス」という。)の利用条件を定めるものである。サービス利用者(以下、「乙」という。)は、本規約に従って、本サービスを利用するものとする。

第1条(適用) 本規約は、乙と甲との間の本サービスの利用に関わる一切の關係に適用されるものとする。

第2条(利用登録) 登録希望者が甲の定める方法によって利用登録を申請し、甲がこれを承認することによって、利用登録が完了するものとする。甲は、利用登録の申請者に以下の事由があると判断した場合、利用登録の申請を承認しないことがあり、その理由については一切の開示義務を負わないものとする。

- (1)利用登録の申請に際して虚偽の事項を届け出た場合
- (2)本規約に違反したことがある者からの申請である場合
- (3)その他、甲が利用登録を相当でないと判断した場合

第3条(利用料金および支払方法) 乙は、本サービス利用の対価として甲が別に定める額を、甲が指定する方法により支払うものとし、またいかなる理由でも利用料金の返金は不可とする。乙が代金の支払を怠った時は、乙は支払期日の翌日から完済に至るまで年14.6%の割合による遅延損害金を甲に対し支払うものとする。

第4条(ユーザーIDおよびパスワードの管理)乙は、自己の責任において、本サービスのユーザーIDおよびパスワードを適切に管理するものとする。

乙は、いかなる場合にも、ユーザーIDおよびパスワードを第三者に譲渡または貸与し、もしくは第三者と共用することはできない。甲は、ユーザーIDとパスワードの組み合わせが登録

情報と一致してログインされた場合には、そのユーザーIDを登録しているユーザー自身による利用とみなす。

ユーザーID及びパスワードが第三者によって使用されたことによって生じた損害は、甲に故意又は重大な過失がある場合を除き、甲は一切の責任を負わないものとする。

第5条(禁止事項) 乙は、本サービスの利用にあたり、以下の行為をしてはならない。

- (1)法令または公序良俗に違反する行為
- (2)犯罪行為に関連する行為
- (3)甲のサーバーまたはネットワークの機能を破壊したり、妨害したりする行為
- (4)甲のサービスの運営を妨害するおそれのある行為
- (5)他のサービス利用者に関する個人情報等を収集又は蓄積する行為
- (6)他のサービス利用者になりすます行為
- (7)他のサービス利用者へ不利益、損害、不快感を与える行為
- (8)甲が許諾しない本サービス上での宣伝、広告、勧誘、または営業行為
- (9)本サービスのコンテンツの譲渡ならびにコンテンツを複製し第三者へ公開する行為
- (10)本サービスにおいて提供される、Youtube動画を再生リストへ追加する行為
- (11)本サービスに関連して、反社会的勢力に対して直接又は間接に利益を供与する行為
- (12)本サービスによって得られた情報を商業的に利用する行為
- (13)その他、甲が不適切と判断する行為

第6条(本サービスの提供の停止等) 甲は、以下のいずれかの事由があると判断した場合、下記の(4)の場合を除き、乙に事前に通知することなく本サービスの全部または一部の提供を停止または中断することができるものとする。

- (1)本サービスにかかるコンピュータシステムの保守点検または更新を行う場合
- (2)地震、落雷、火災、停電または天災などの不可抗力により、本サービスの提供が困難となった場合
- (3)コンピュータまたは通信回線等が事故により停止した場合
- (4)その他、甲が本サービスの提供が困難と判断した場合 ただし、この場合は、1ヶ月前までに乙に対し、通知するものとする。甲は、本サービスの提供の停止または中断により、乙

または第三者が被ったいかなる不利益または損害について、理由を問わず一切の責任を負わないものとする。

第7条(利用制限および登録抹消) 甲は、以下の場合には、事前の通知なく、乙に対して、本サービスの全部もしくは一部の利用を制限し、またはサービス利用者としての登録を抹消することができるものとする。

(1)本規約のいずれかの条項に違反した場合

(2)登録事項に虚偽の事実があることが判明した場合

(3)料金等の支払債務の不履行があった場合

(4)甲から乙に対し、相当の期間を指定して返答を要する問い合わせをした場合、乙から期間内に連絡がない場合

(5)その他、甲が本サービスの利用を適当でないと判断した場合 甲は、本条に基づき甲が行った行為により乙に生じた損害について、一切の責任を負わない。

第8条(コンテンツに関する権利) 本サービスに掲載されている情報、内容、デザイン、ロゴマーク等に関する著作権、パブリシティ権その他の知的財産権(以下総称して「本知的財産権」という。)は特に明記されていない限り、甲または甲の契約先第三者に帰属するものとする。本知的財産権のうち本サービスの著作権に関し、私的利用その他著作権法によって明示的に認められる場合を除き、事前に甲からの文書による承諾を得ることなく、本サービス内の著作物の一部または全部をそのままあるいは改変して転用、複製等を行うことは一切禁止する。また、著作権以外の本知的財産権に関しても、法令によって明示的に認められる場合を除き、事前に甲からの文書による承諾がない限り、これを利用することはできない。本条に違反した場合、ライセンス料として、【本サービス利用料金の100%+コンテンツによって生じた利益】×使用した回数を上限として、甲から乙に対し支払いを求めることができる。

第9条(免責事項) 甲の債務不履行責任は、甲の故意または重過失によらない場合には免責されるものとする。甲は、何らかの理由によって責任を負う場合にも、通常生じうる損害の範囲内かつ本サービスの販売価格相当額の範囲内においてのみ賠償の責任を負うものとする。

甲は、本サービスに関して、乙と他のサービス利用者または第三者との間において生じた取引、連絡または紛争等について一切責任を負わないものとする。

第10条(損害賠償)乙が本規約に違反した行為があった場合、不正もしくは違法な行為によって甲に損害を与えた場合、甲は乙に対して本サービスの利用禁止及び相応の損害賠償の請求を行うことができるものとする。

第11条(サービス内容の変更等) 甲は、乙に通知することなく、本サービスの内容を変更し、または1ヶ月前までに通知することにより本サービスの提供を中止することができるものとし、これによって乙に生じた損害について一切の責任を負わないものとする。

第12条(利用規約の変更) 甲は、必要と判断した場合には、乙に通知することなくいつでも本規約を変更することができるものとする。

第13条(通知または連絡) 乙と甲との間の通知または連絡は、甲の定める方法によって行うものとする。なお、甲は、乙から甲が別途定める方式に従った変更の申し出がない限り、現在登録されている連絡先が有効なものとみなして当該連絡先へ通知または連絡を行い、発信時に乙へ到達したものとみなす。

第14条(権利義務の譲渡の禁止) 乙は、甲の書面による事前の承諾なく、利用契約上の地位または本規約に基づく権利もしくは義務を第三者に譲渡し、または担保に供することはできないものとする。

第15条(準拠法・裁判管轄) 本規約の解釈にあたっては、日本法を準拠法とする。本サービスに関して紛争が生じた場合には、甲の本店所在地を管轄する裁判所を専属的合意管轄とする。

以上